



上村町長に目録を手渡す涌井さん(右)

関係5市町に財政支援要請

北越 特急廃止で存続めざし

ほくほく線を担う第三セクターの北越急行(株)は、先月27日の県への要望に続き、渡邊正幸社長が沿線の南魚沼市、十日町市、津南町、湯沢町、上越市の関係5市町を2日から5日まで訪れ、「ほくほく線の持続的な安全・安定輸送の確保のための財政支援に関する要請書」を各首長に提出し、支援協力を要請した。同社では、北陸新幹線金沢開業に伴いドル箱の特急「はくたか」が廃止され、運輸収入が1割程度と激減し、平成27年度以降は恒常的な大幅赤字に陥ることが避けられない状況となっており、これまでの内部留保の取り

く、どう通院したらいいか悩み、石田タマエ町議に相談。石田町議は一般質問で質したり、涌井さんらと上村憲司町長に陳情するなどして送迎問題を訴え続け、同サービス事業化に尽力した。上村町長に寄付金の目録を手渡した涌井さんは「町に甘えるだけでなく、負担できるものは負

担していきたい。自分の感謝の気持ちを表したかった。行政の支援のおかげでもっと長生きできると考え方も前向きになった。寄付金は最後のために貯めてきたお金の一部、決してお金持ちではない。私が今できる精一杯の額。必要ならどこに

今年のご当地グルメグランプリ 十日町(駅東口)で9日

県内外のご当地グルメが味を競うことで新潟県の食の魅力を発信し誘客を図る県内最大級のグルメイベント「国際ご当地グルメグランプリ2016」の開催地が2日、十日町市内に内定した。9月24、25日に十日町駅通りと東口公園で開催される計画だ。外部有識者からなる開

中華圏ナンバー1観光ブロッガーが来市

台湾出身の林氏璧さん

誘客目指し豪雪体感インバウンドを発信

中華圏で日本旅行に関するナンバー1ブロッガー(ブログ執筆者)として知られる林氏璧(リン・スピーピン、台湾出身)さんが先月29日から2泊3日の行程で来市し、十日

十日町市の魅力を発信してもらい、誘客につなげようと企画された。林さんは妻、娘2人と訪れ、ベルナティオで雪上アクティビティ、芝間スキー場でスキー、芝

町市内の「豪雪体感インバウンド」の取り組みを体験取材した。林さんは日本旅行を題材にしたブログ「林氏璧和美狐團三狐の小天地」(http://linshibi.com)を執筆している。読者は70万人にのぼり、中華圏の日本旅行に関する力リスマ的存在として知られている。今回の来市は、昨年末に開催されたトオコン本選会に新分野進出部門で参加、市インキュベーションオフィス(クロスメン内)に入居し活動を始めた(株)ジャパンコンシェルジュ(柳川直隆社長、本社・東京新宿区)が、事業第一弾として招聘したもの。近年、中華圏では日本の雪の人氣が高く、北海道や湯沢などに大勢の観光客が訪れている。林さんに豪雪地・



芝峠でスノーシューを楽しむ林さん家族(右から3人目が林さん)

ングと雪下ろし、芝峠温泉雲海で雪見露天風呂、松之山温泉で温泉コーストポークと米粉パン焼など家族と一緒に体験取材した。林さんは「家族ですごく楽しく過ごすことが

きた。台湾出身の芸術家ジミー・リャオの大地の芸術祭作品(水沢地区)もあり鑑賞できて嬉しかった。雪下になじんジュースやスノーシューなどをハイライトとして紹介してみたいと話し、誘客については「北海道と比べて東京に近く新幹線で来れるのが便利。だが駅からが少し遠い。外国人にレンタカーは危ないので、シャトルバスがあればいいと思う。外国人向けの案内が不十分で、ホテルの予約もとれない。市内でも情報が入り手できる場所があると良い」とアドバイス。柳川社長は「今後も台湾や香港、シンガポールなどに向けて情報発信を行い、ファミリー層を中心に市内に足を運んでもらえるよう努力したい」と話していた。